



平成27年10月30日

各 位

上場会社名 中部電力株式会社
代表者 代表取締役社長 勝野 哲
(コード番号 9502)
問合せ先責任者
経理部決算グループ長 富田 章二
(TEL 052-951-8211)

子会社の業績予想の修正に関するお知らせ

本日、当社子会社である株式会社トーエネックが、別添のとおり業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。これによる当社の連結業績予想への影響は軽微であります。

なお、当社の連結業績予想につきましては、本日公表予定の決算短信をご覧ください。

以 上



平成 27 年 10 月 30 日

各 位

上場会社名 株式会社トーエネック
 代表者 代表取締役社長 社長執行役員 久米雄二
 (コード番号 1946)
 問合せ先責任者 執行役員 経理部長 木村昌彦
 (TEL 052-219-1916)

第 2 四半期累計期間業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 27 年 7 月 31 日に公表した平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想値と、本日公表の実績に下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 3 月期通期の業績予想につきましても下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成28年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値との差異(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	97,000	3,300	3,300	2,200	23.50
実績(B)	94,772	4,503	4,434	2,858	30.55
増減額(B-A)	△2,227	1,203	1,134	658	
増減率(%)	△2.3	36.5	34.4	29.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	86,485	2,109	2,133	1,355	14.48

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	205,000	4,600	4,700	2,800	29.92
今回修正予想(B)	202,000	6,600	6,800	4,200	44.87
増減額(B-A)	△3,000	2,000	2,100	1,400	
増減率(%)	△1.5	43.5	44.7	50.0	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	195,574	6,972	7,077	3,490	37.29

平成28年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値との差異(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	94,000	3,000	3,000	2,000	21.37
実績(B)	92,409	4,250	4,305	2,816	30.09
増減額(B-A)	△1,590	1,250	1,305	816	
増減率(%)	△1.7	41.7	43.5	40.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	84,104	1,814	2,047	1,409	15.05

平成28年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	197,000	4,000	4,000	2,400	25.64
今回修正予想(B)	194,000	6,000	6,100	3,800	40.60
増減額(B-A)	△3,000	2,000	2,100	1,400	
増減率(%)	△1.5	50.0	52.5	58.3	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	190,791	6,353	6,682	3,431	36.66

差異及び修正の理由

(第2四半期累計期間業績予想と実績との差異)

売上高につきましては、わずかですが前回発表予想を下回りました。

利益面につきましては、全社を挙げて工事原価の低減に努力したことや、当初、第3四半期以降に効果が現れると見込んでいた作業能率向上等の効率化諸施策が順調に進展し、工事採算性が改善したことなどにより、前回発表予想を上回りました。

(通期業績予想の修正)

売上高につきましては、電力会社の経営効率化施策の影響により配電線工事が減少することや、携帯電話事業各社の設備投資抑制の影響により情報通信工事が減少することなどにより、当初予想値を下回る見込みです。

利益面につきましては、第3四半期以降、工具等の更新や事業場等の修繕にかかる費用が増加する見通しですが、第2四半期までの実績と今後の動向等を勘案し、当初予想値を修正いたしました。

(注) 上記に記載した予想数値は、当社が現在入手している情報に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上